

# 野村グローバルAI関連株式ファンド Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）

野村グローバルAI関連株式ファンド Aコース/Bコース

## 運用報告書(全体版)

第10期（決算日2022年5月16日）

作成対象期間（2021年11月16日～2022年5月16日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

	Aコース	Bコース
商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2017年2月23日から2027年11月15日までです。	
運用方針	野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）受益証券への投資を通じて、主として新興国を含む世界各国のAI（人工知能）技術関連の株式（DR（預託証券）を含みます。）に実質的に投資し、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジ（先進国通貨等による代替ヘッジを含みます。）により為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。	
主な投資対象	野村グローバルAI関連株式ファンド Aコース/Bコース	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資する場合があります。
	マザーファンド	新興国を含む世界各国のAI（人工知能）技術関連の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。
主な投資制限	野村グローバルAI関連株式ファンド Aコース/Bコース	株式への実質投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等から、基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。	

## 野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号



サポートダイヤル 0120-753104

〈受付時間〉 営業日の午前9時～午後5時



ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

## &lt;Aコース&gt;

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価 額			株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 期 金 騰 落 率			
	円		円	%	%	%	百万円
6期(2020年5月14日)	12,604		250	△ 0.7	95.6	—	96,038
7期(2020年11月16日)	15,220		300	23.1	98.0	—	101,107
8期(2021年5月14日)	15,385		300	3.1	98.7	—	90,842
9期(2021年11月15日)	18,728		500	25.0	97.3	—	104,111
10期(2022年5月16日)	12,051		100	△35.1	94.9	—	64,944

\* 基準価額の騰落率は分配金込み。

\* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

\* 株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

\* 当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行なっており、また、当ファンドの主要投資対象であるAI技術関連企業の株価の値動きを表す適切な指数等がないため、ベンチマーク等はありません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
		騰 落	率		
(期 首)	円		%	%	%
2021年11月15日	18,728		—	97.3	—
11月末	18,444		△ 1.5	95.7	—
12月末	17,567		△ 6.2	95.3	—
2022年1月末	14,966		△20.1	93.2	—
2月末	14,559		△22.3	93.8	—
3月末	15,165		△19.0	96.3	—
4月末	12,958		△30.8	96.4	—
(期 末)					
2022年5月16日	12,151		△35.1	94.9	—

\* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

\* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

\* 株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

## ＜Bコース＞

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価 額			株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 期 金 騰 落 率			
	円		円		%	%	百万円
6期(2020年5月14日)	12,863		250	△ 1.8	95.6	—	97,705
7期(2020年11月16日)	15,401		300	22.1	98.0	—	100,111
8期(2021年5月14日)	16,333		350	8.3	98.7	—	92,825
9期(2021年11月15日)	20,596		600	29.8	97.3	—	110,176
10期(2022年5月16日)	14,693		250	△27.4	94.8	—	76,671

\* 基準価額の騰落率は分配金込み。

\* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

\* 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

\* 当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行なっており、また、当ファンドの主要投資対象であるAI技術関連企業の株価の値動きを表す適切な指数等がないため、ベンチマーク等はありません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
		騰 落	率		
(期 首)	円		%	%	%
2021年11月15日	20,596	—	—	97.3	—
11月末	20,222	△ 1.8	—	96.1	—
12月末	19,463	△ 5.5	—	95.3	—
2022年1月末	16,596	△19.4	—	93.2	—
2月末	16,165	△21.5	—	93.8	—
3月末	17,783	△13.7	—	96.2	—
4月末	15,868	△23.0	—	96.4	—
(期 末)					
2022年5月16日	14,943	△27.4	—	94.8	—

\* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

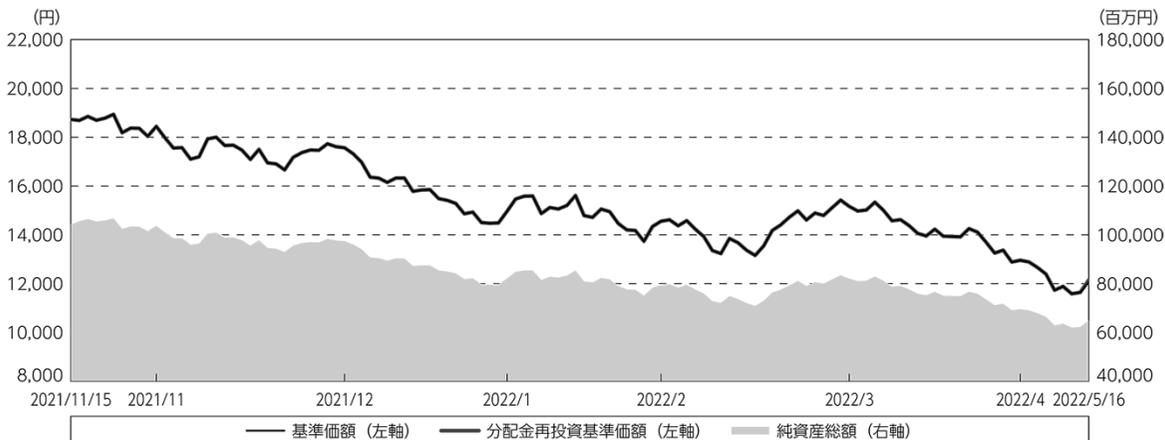
\* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

\* 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

## <Aコース>

### ◎運用経過

#### ○期中の基準価額等の推移



期 首：18,728円

期 末：12,051円 (既払分配金(税込み)：100円)

騰落率：△ 35.1% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2021年11月15日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

#### ○基準価額の主な変動要因

(下落) 新型コロナウイルスのオミクロン株の感染拡大への懸念が広がったこと、FRB(米連邦準備制度理事会)がインフレ対応重視で金融政策の正常化を前倒しで進めるとの見方が強まり、米長期金利が上昇したこと、ロシアがウクライナへ軍事侵攻すると懸念から、世界経済の先行き不透明感が強まったこと

(上昇) 2022年3月のFOMC(米連邦公開市場委員会)で市場予想と同じく0.25%の政策金利引き上げを決定するなど重要イベントを通過したこと、ロシアとウクライナの停戦交渉進展への期待が高まったこと

(下落) FRBの理事が資産圧縮を「5月にも急ピッチで始める」と発言するなど、金融引き締め姿勢の強まりに対する懸念が広がったこと、2022年1-3月期の決算発表において多くの企業で業績が市場予想を上回った一方、今後の見通しについては物価上昇が業績への重石になるとの見方を示す企業も多く、企業業績への警戒感が高まったこと

## <Aコース>

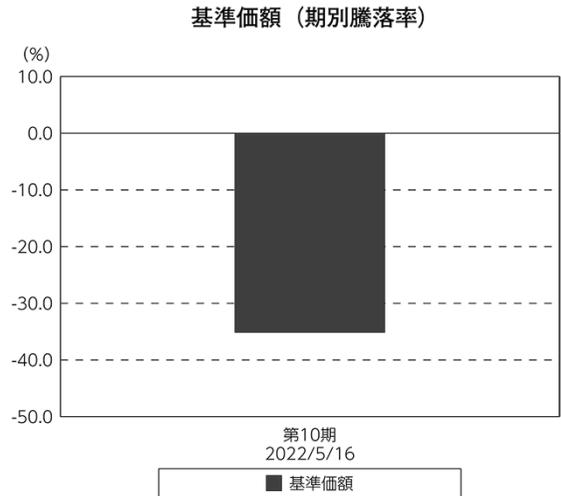
### ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行なっており、また、当ファンドの主要投資対象であるAI技術関連企業の株価の値動きを表す適切な指数等がないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。

保有銘柄のうち、既存の主力薬の成長見通しが良好であることに加え有望な新薬候補を複数保有していることが評価されたバーテックス（米国のバイオテクノロジー株）などが上昇したことが基準価額のプラス要因となりました。

一方、米長期金利の上昇が進んだことで中長期の成長期待が積極的に評価されてきたエヌビディア（米国の半導体・半導体製造装置株）などが下落したことが基準価額のマイナス要因となりました。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

### ◎分配金

- (1) 分配金につきましては、基準価額水準等を勘案して、1万口当たり100円とさせていただきます。
- (2) 留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

### ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第10期
	2021年11月16日～ 2022年5月16日
当期分配金 (対基準価額比率)	100 0.823%
当期の収益	—
当期の収益以外	100
翌期繰越分配対象額	8,074

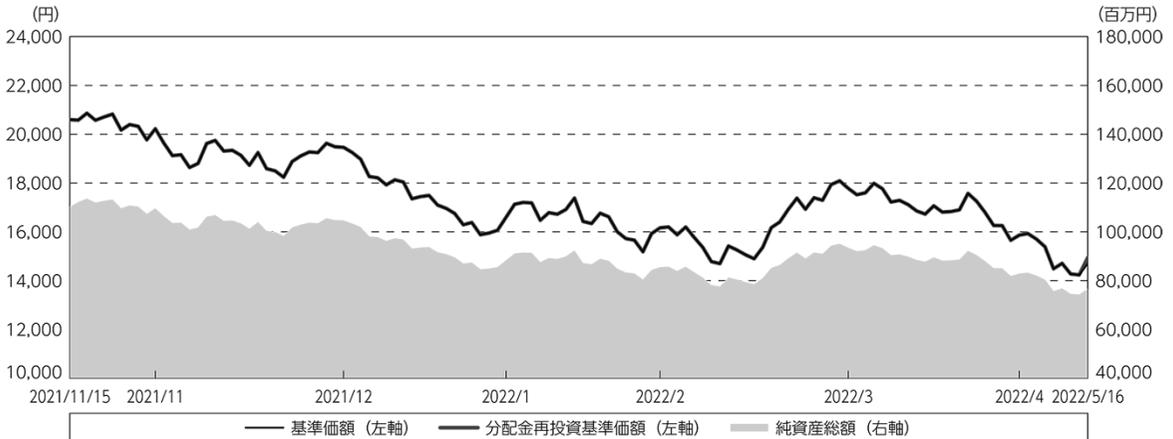
(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## <Bコース>

### ◎運用経過

#### ○期中の基準価額等の推移



期首：20,596円

期末：14,693円 (既払分配金(税込み)：250円)

騰落率：△ 27.4% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2021年11月15日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

#### ○基準価額の主な変動要因

- (下落) 新型コロナウイルスのオミクロン株の感染拡大への懸念が広がったこと、FRB(米連邦準備制度理事会)がインフレ対応重視で金融政策の正常化を前倒しで進めるとの見方が強まり、米長期金利が上昇したこと、ロシアがウクライナへ軍事侵攻することの懸念から、世界経済の先行き不透明感が強まったこと
- (上昇) 2022年3月のFOMC(米連邦公開市場委員会)で市場予想と同じく0.25%の政策金利引き上げを決定するなど重要イベントを通過したこと、ロシアとウクライナの停戦交渉進展への期待が高まったこと、為替市場で円が下落(円安)したこと
- (下落) FRBの理事が資産圧縮を「5月にも急ピッチで始める」と発言するなど、金融引き締め姿勢の強まりに対する懸念が広がったこと、2022年1-3月期の決算発表において多くの企業で業績が市場予想を上回った一方、今後の見通しについては物価上昇が業績への重石になるとの見方を示す企業も多く、企業業績への警戒感が高まったこと

## <Bコース>

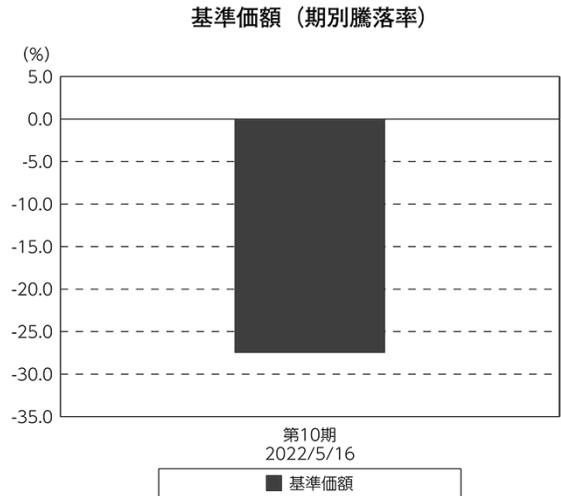
### ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行なっており、また、当ファンドの主要投資対象であるAI技術関連企業の株価の値動きを表す適切な指数等がないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。

保有銘柄のうち、既存の主力薬の成長見通しが良好であることに加え有望な新薬候補を複数保有していることが評価されたバーテックス（米国のバイオテクノロジー株）などが上昇したことが基準価額のプラス要因となりました。

一方、米長期金利の上昇が進んだことで中長期の成長期待が積極的に評価されてきたエヌビディア（米国の半導体・半導体製造装置株）などが下落したことが基準価額のマイナス要因となりました。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

### ◎分配金

- (1) 分配金につきましては、基準価額水準等を勘案して、1万口当たり250円とさせていただきます。
- (2) 留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

### ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第10期
	2021年11月16日～ 2022年5月16日
当期分配金 (対基準価額比率)	250 1.673%
当期の収益	—
当期の収益以外	250
翌期繰越分配対象額	9,846

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## <Aコース/Bコース>

### ○投資環境

世界の株式市場は、当期初、新型コロナウイルスのオミクロン株の感染拡大への懸念が広がったことなどを背景に下落して始まりました。その後も、FRB（米連邦準備制度理事会）がインフレ対応を重視して金融政策の正常化を早めるとの見方が強まり、米長期金利の上昇が進んだことで、中長期の成長期待が積極的に評価されてきた銘柄を中心に下落しました。また2022年2月下旬にロシアがウクライナへ軍事侵攻したことで、ロシアに対する欧米の経済制裁やサプライチェーンの混乱が、世界経済の成長見通しを悪化させる懸念が高まったことなどから、下落基調が続きました。その後、3月のFOMC（米連邦公開市場委員会）で市場予想と同じ0.25%の政策金利引き上げが決定されたことや、ロシアとウクライナの停戦交渉進展への期待が高まったことから上昇する場面もありましたが、4月にはFRBの理事が資産圧縮を「5月にも急ピッチで始める」と発言するなど、金融引き締め懸念が再度高まりました。また、2022年1-3月期の決算発表において多くの企業で業績が市場予想を上回った一方、物価上昇が今後の業績見通しの重石になるとの見方が示されたことから、グローバルな景気見通しの不透明感も高まりました。当期において世界の株式市場は下落しました。

為替市場では米金融政策の正常化が早期に進むとの見方が広がった一方、日銀が緩和的な金融政策を維持したことなどを背景に日米の金利差が拡大したことや、ロシアのウクライナ侵攻などにより地政学的リスクの高まりが意識されたことなどから、米ドル高が急速に進行し、期を通じて米ドル高・円安となりました。

## <Aコース/Bコース>

### ○当ファンドのポートフォリオ

#### [野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド]

##### ・株式組入比率

期を通じておおむね高位を維持しました。

##### ・期中の主な動き

- (1) 当ファンドでは、世界各国の株式の中から、「IT関連」、「産業関連」、「医療・ヘルスケア関連」等の分野を中心に高度なAI（人工知能）先端技術の研究成果に着目し、AIの活用、実用化によって恩恵を受け、高い成長が期待される企業等に投資を行ないました。結果、AIの活用により中長期で成長が期待されるITセクターなどの投資比率を高めとしました。
- (2) 銘柄につきましては、企業のDX（デジタルトランスフォーメーション）が進む中で、サイバーセキュリティ製品やサービスへの需要の高まりによる中長期的な成長が期待できると判断したクラウドストライク・ホールディングス（米国のソフトウェア株）や、新薬ポートフォリオの中期的な成長期待が過小評価されていると判断したアストラゼネカ（英国の医薬品株）などを買付けしました。一方、2021年8-10月期決算において売上成長鈍化への懸念が高まったエラスティック（オランダのソフトウェア株）や、相対的にマクロ環境の変化を受けやすいと判断したシミュレーションソフトウェアを提供するアンシス（米国のソフトウェア株）などを売却しました。

#### [野村グローバルAI関連株式ファンド Aコース]

- ・主要投資対象である[野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド] 受益証券を期を通じておおむね高位に組み入れました。

##### ・為替ヘッジ（為替の売り予約）

当ファンドの運用の基本方針に従い、実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジ（先進国通貨等による代替ヘッジを含みます。）により為替変動リスクの低減を図りました。

#### [野村グローバルAI関連株式ファンド Bコース]

- ・主要投資対象である[野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド] 受益証券を期を通じておおむね高位に組み入れました。

##### ・為替ヘッジ（為替の売り予約）

当ファンドの運用の基本方針に従い、為替ヘッジは行ないませんでした。

<Aコース/Bコース>

## ◎今後の運用方針

### [野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド]

#### ・投資環境

米国経済は、インフレ率上昇による景気下押しは限定的であり、堅調な成長が続くとみています。2022年4月の消費者物価指数(除く食品・エネルギー)は前年同月比+6.2%となるなど、高水準のインフレ率が経済活動へ与える悪影響が懸念されますが、堅調な個人消費や、エネルギー価格上昇の恩恵を受ける業種の設備投資などが米国経済を下支えするとみています。なお、FRB(米連邦準備制度理事会)は、政策金利の引き上げを順次行ないながら、引き続き経済データを注視しつつ、金融政策を運営すると見られます。

#### ・運用方針

当ファンドでは、世界各国の株式の中から、AI先端技術の研究成果に着目し、AIの活用、実用化によって恩恵を受け、高い成長が期待される企業等に投資を行ないます。

外部環境の不透明感が続くなかでも、AI関連などの高成長が期待される分野への注目は引き続き高く、各分野での勝ち組企業がますます強くなるという傾向が目立ちます。加えて、ITセクターだけでなく、幅広い業種や分野でAIを活用した新しい技術やビジネスモデルも普及してきています。引き続き中長期的な競争優位性を見極めることを重視し、銘柄を選択してまいります。

### [野村グローバルAI関連株式ファンド Aコース]

主要投資対象である[野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジ(先進国通貨等による代替ヘッジを含みます。)により為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。

### [野村グローバルAI関連株式ファンド Bコース]

主要投資対象である[野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、実質組入外貨建資産については為替ヘッジを行なわない方針です。

今後とも、引き続きご愛顧を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

## &lt;Aコース&gt;

## ○1万口当たりの費用明細

(2021年11月16日～2022年5月16日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 133	% 0.850	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	( 64 )	( 0.411 )	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	( 64 )	( 0.411 )	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	( 4 )	( 0.027 )	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	1	0.006	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	( 1 )	( 0.006 )	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	1	0.005	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	( 1 )	( 0.005 )	
(d) そ の 他 費 用	1	0.004	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 0 )	( 0.002 )	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 0 )	( 0.002 )	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	( 0 )	( 0.000 )	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	136	0.865	
期中の平均基準価額は、15,609円です。			

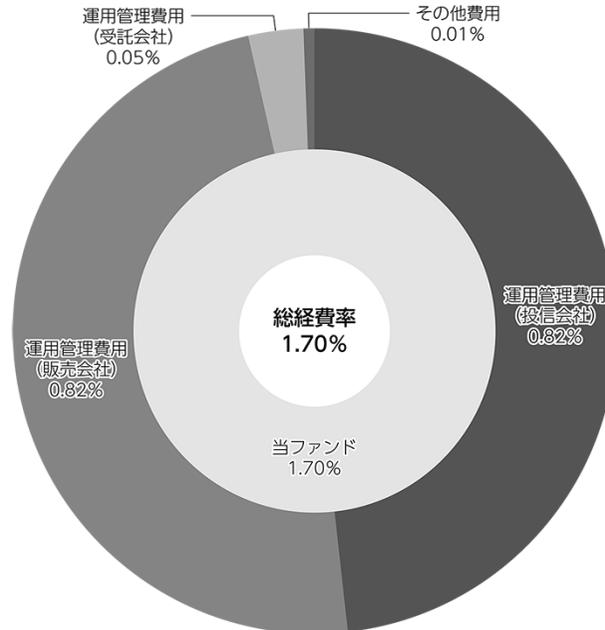
- \* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。  
\* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。  
\* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。  
\* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## <Aコース>

(参考情報)

### ○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.70%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## &lt;Aコース&gt;

## ○売買及び取引の状況

(2021年11月16日～2022年5月16日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド	千口 34,126,626	千円 75,542,187	千口 39,956,782	千円 87,991,870

\*単位未満は切り捨て。

## ○株式売買比率

(2021年11月16日～2022年5月16日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	32,738,574千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	171,147,062千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.19

\* (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2021年11月16日～2022年5月16日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2022年5月16日現在)

## 親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド	千口 39,545,687	千口 33,715,530	千円 64,838,337

\*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

## &lt;Aコース&gt;

## ○投資信託財産の構成

(2022年5月16日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド	64,838,337	97.3
コール・ローン等、その他	1,772,823	2.7
投資信託財産総額	66,611,160	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（135,430,235千円）の投資信託財産総額（142,034,550千円）に対する比率は95.4%です。

\*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=129.65円、1英ポンド=159.07円、1ユーロ=134.95円、1香港ドル=16.52円。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年5月16日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	126,190,446,320
コール・ローン等	1,512,096,643
野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド(評価額)	64,838,337,664
未収入金	59,840,012,013
(B) 負債	61,246,109,756
未払金	59,906,022,726
未払収益分配金	538,905,657
未払解約金	82,905,197
未払信託報酬	716,888,154
未払利息	555
その他未払費用	1,387,467
(C) 純資産総額(A-B)	64,944,336,564
元本	53,890,565,797
次期繰越損益金	11,053,770,767
(D) 受益権総口数	53,890,565,797口
1万円当たり基準価額(C/D)	12,051円

(注) 期首元本額は55,590,906,688円、期中追加設定元本額は1,990,153,439円、期中一部解約元本額は3,690,494,330円、1口当たり純資産額は1.2051円です。

## ○損益の状況

(2021年11月16日～2022年5月16日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 77,682
支払利息	△ 77,682
(B) 有価証券売買損益	△34,205,858,024
売買益	2,511,830,651
売買損	△36,717,688,675
(C) 信託報酬等	△ 718,281,561
(D) 当期損益金(A+B+C)	△34,924,217,267
(E) 前期繰越損益金	37,549,627,177
(F) 追加信託差損益金	8,967,266,514
(配当等相当額)	( 6,502,201,878)
(売買損益相当額)	( 2,465,064,636)
(G) 計(D+E+F)	11,592,676,424
(H) 収益分配金	△ 538,905,657
次期繰越損益金(G+H)	11,053,770,767
追加信託差損益金	8,967,266,514
(配当等相当額)	( 6,502,954,695)
(売買損益相当額)	( 2,464,311,819)
分配準備積立金	37,010,721,520
繰越損益金	△34,924,217,267

\*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含まず。

\*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

\*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## <Aコース>

(注) 分配金の計算過程 (2021年11月16日～2022年5月16日) は以下の通りです。

項 目	当 期
	2021年11月16日～ 2022年5月16日
a. 配当等収益(経費控除後)	0円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	6,502,954,695円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	37,549,627,177円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	44,052,581,872円
f. 分配対象収益(1万円当たり)	8,174円
g. 分配金	538,905,657円
h. 分配金(1万円当たり)	100円

## ○分配金のお知らせ

1万円当たり分配金(税込み)	100円
----------------	------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金(特別分配金)となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金(特別分配金)となります。

## ○お知らせ

該当事項はございません。

## &lt;Bコース&gt;

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年11月16日～2022年5月16日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	150	0.850	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	( 73 )	(0.411)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	( 73 )	(0.411)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	( 5 )	(0.027)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	1	0.006	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	( 1 )	(0.006)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	1	0.005	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	( 1 )	(0.005)	
(d) そ の 他 費 用	1	0.004	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 0 )	(0.002)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 0 )	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	( 0 )	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	153	0.865	
期中の平均基準価額は、17,682円です。			

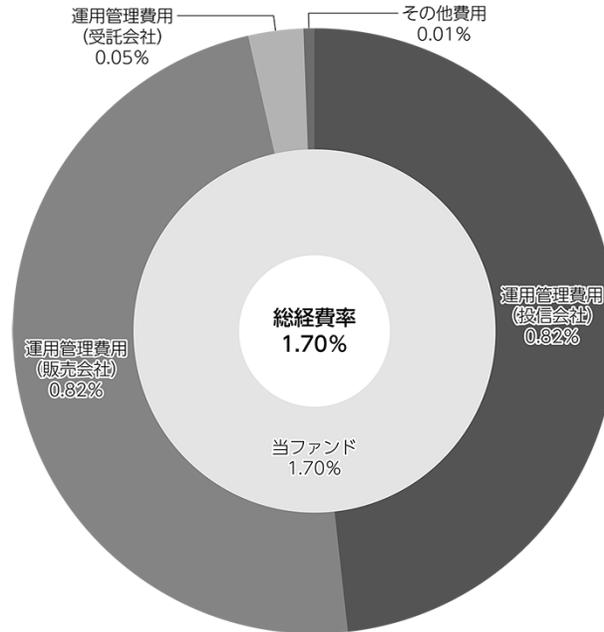
- \* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。  
\* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。  
\* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。  
\* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## <Bコース>

### (参考情報)

#### ○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.70%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## &lt;Bコース&gt;

## ○売買及び取引の状況

(2021年11月16日～2022年5月16日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド	千口 984,842	千円 2,513,754	千口 3,041,228	千円 6,497,155

\*単位未満は切り捨て。

## ○株式売買比率

(2021年11月16日～2022年5月16日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	32,738,574千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	171,147,062千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.19

\* (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2021年11月16日～2022年5月16日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2022年5月16日現在)

## 親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド	千口 41,847,752	千口 39,791,367	千円 76,522,778

\*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

## ＜Bコース＞

## ○投資信託財産の構成

(2022年5月16日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド	76,522,778	97.0
コール・ローン等、その他	2,354,394	3.0
投資信託財産総額	78,877,172	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（135,430,235千円）の投資信託財産総額（142,034,550千円）に対する比率は95.4%です。

\*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=129.65円、1英ポンド=159.07円、1ユーロ=134.95円、1香港ドル=16.52円。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年5月16日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	78,877,172,966
コール・ローン等	2,354,394,952
野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド(評価額)	76,522,778,014
(B) 負債	2,205,776,221
未払収益分配金	1,304,552,106
未払解約金	112,564,936
未払信託報酬	787,134,885
未払利息	864
その他未払費用	1,523,430
(C) 純資産総額(A-B)	76,671,396,745
元本	52,182,084,264
次期繰越損益金	24,489,312,481
(D) 受益権総口数	52,182,084,264口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,693円

(注) 期首元本額は53,494,122,430円、期中追加設定元本額は1,694,349,605円、期中一部解約元本額は3,006,387,771円、1口当たり純資産額は1.4693円です。

## ○損益の状況 (2021年11月16日～2022年5月16日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 49,427
支払利息	△ 49,427
(B) 有価証券売買損益	△28,524,770,880
売買益	886,395,283
売買損	△29,411,166,163
(C) 信託報酬等	△ 788,658,315
(D) 当期損益金(A+B+C)	△29,313,478,622
(E) 前期繰越損益金	45,357,430,496
(F) 追加信託差損益金	9,749,912,713
(配当等相当額)	( 7,328,176,882)
(売買損益相当額)	( 2,421,735,831)
(G) 計(D+E+F)	25,793,864,587
(H) 収益分配金	△ 1,304,552,106
次期繰越損益金(G+H)	24,489,312,481
追加信託差損益金	9,749,912,713
(配当等相当額)	( 7,328,883,932)
(売買損益相当額)	( 2,421,028,781)
分配準備積立金	44,052,878,390
繰越損益金	△29,313,478,622

\*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

\*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## <Bコース>

(注) 分配金の計算過程 (2021年11月16日～2022年5月16日) は以下の通りです。

項 目	当 期
	2021年11月16日～ 2022年5月16日
a. 配当等収益(経費控除後)	0円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	7,328,883,932円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	45,357,430,496円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	52,686,314,428円
f. 分配対象収益(1万円当たり)	10,096円
g. 分配金	1,304,552,106円
h. 分配金(1万円当たり)	250円

## ○分配金のお知らせ

1万円当たり分配金(税込み)	250円
----------------	------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金(特別分配金)となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金(特別分配金)となります。

## ○お知らせ

該当事項はございません。

## ○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

(2022年5月16日現在)

## &lt;野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド&gt;

下記は、野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド全体(73,506,898千口)の内容です。

## 国内株式

銘	柄	期首(前期末)	当 期		末
		株 数	株 数	評 価	額
		千株	千株	千円	
機械 (48.0%)					
ダイキン工業		126.5	126.5		2,619,815
サービス業 (52.0%)					
リクルートホールディングス		604.5	604.5		2,836,314
合 計	株 数 ・ 金 額	731	731		5,456,129
	銘 柄 数 < 比 率 >	2	2		< 3.9% >

\*各銘柄の業種分類は、期首、期末の各時点での分類に基づいています。

\*銘柄欄の( )内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

\*評価額欄の&lt; &gt;内は、このファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の比率。

\*評価額の単位未満は切り捨て。

## 外国株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等	
	株 数	株 数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
ADOBE INC	2,066	1,880	76,224	9,882,519	ソフトウェア	
AMAZON.COM INC	327	318	71,902	9,322,221	インターネット販売・通信販売	
AMGEN INC	514	888	21,613	2,802,244	バイオテクノロジー	
ANSYS INC	902	—	—	—	ソフトウェア	
AVALARA INC	1,132	1,132	9,102	1,180,127	ソフトウェア	
CME GROUP INC	762	762	15,247	1,976,853	資本市場	
CATERPILLAR INC DEL	718	718	14,670	1,902,081	機械	
CROWDSTRIKE HOLDINGS INC - A	—	1,138	17,785	2,305,929	ソフトウェア	
DEERE & COMPANY	466	466	17,087	2,215,427	機械	
META PLATFORMS INC	2,106	2,106	41,829	5,423,178	インタラクティブ・メディアおよびサービス	
FORTINET INC	1,076	1,076	30,294	3,927,718	ソフトウェア	
GLOBAL PAYMENTS INC	556	556	6,794	880,883	情報技術サービス	
HONEYWELL INTERNATIONAL INC	798	798	15,443	2,002,274	コングロマリット	
IDEXX LABORATORIES INC	488	314	11,372	1,474,438	ヘルスケア機器・用品	
INTUIT INC	1,890	1,890	70,262	9,109,551	ソフトウェア	
INTUITIVE SURGICAL INC	825	825	18,454	2,392,616	ヘルスケア機器・用品	
LAM RESEARCH	549	549	27,006	3,501,380	半導体・半導体製造装置	
MASTERCARD INC	1,351	1,351	44,961	5,829,229	情報技術サービス	
MICROSOFT CORP	4,220	3,543	92,514	11,994,545	ソフトウェア	
NETFLIX INC	294	—	—	—	娯楽	
NVIDIA CORP	4,730	4,543	80,438	10,428,833	半導体・半導体製造装置	
PINTEREST INC- CLASS A	4,445	—	—	—	インタラクティブ・メディアおよびサービス	
PLUG POWER INC	2,666	2,666	4,006	519,507	電気設備	
QUANTUMSCAPE CORP	1,991	1,991	2,460	319,052	自動車部品	
SERVICENOW INC	1,424	1,424	64,457	8,356,896	ソフトウェア	
SHOPIFY INC - CLASS A	210	—	—	—	情報技術サービス	
BLOCK INC	1,544	1,544	12,992	1,684,511	情報技術サービス	
TESLA INC	—	71	5,464	708,419	自動車	
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	259	259	14,022	1,818,053	ライフサイエンス・ツール/サービス	
UNITEDHEALTH GROUP INC	589	589	28,590	3,706,701	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス	
VEEVA SYSTEMS INC-CLASS A	1,534	1,310	22,634	2,934,521	ヘルスケア・テクノロジー	
VERTEX PHARMACEUTICALS	670	1,029	25,387	3,291,487	バイオテクノロジー	
ZOETIS INC	1,474	526	8,696	1,127,482	医薬品	
ZOOM VIDEO COMMUNICATIONS-A	619	—	—	—	ソフトウェア	
ATLASSIAN CORP PLC-CLASS A	1,473	1,473	27,824	3,607,507	ソフトウェア	
FIVERR INTERNATIONAL LTD	1,715	—	—	—	インターネット販売・通信販売	
ELASTIC NV	5,060	—	—	—	ソフトウェア	
小 計	株 数	金 額	51,443	37,735	899,546	116,626,196
	銘柄 数	< 比 率 >	35	30	—	< 82.5% >
(イギリス)					千英ポンド	
ASTRAZENECA PLC	—	1,079	11,105	1,766,500	医薬品	
小 計	株 数	金 額	—	1,079	11,105	1,766,500
	銘柄 数	< 比 率 >	—	1	—	< 1.2% >
(ユーロ…ドイツ)					千ユーロ	
HELLOFRESH SE	3,510	3,510	13,689	1,847,330	食品・生活必需品小売り	
小 計	株 数	金 額	3,510	3,510	13,689	1,847,330
	銘柄 数	< 比 率 >	1	1	—	< 1.3% >
(ユーロ…フランス)						
LMVH MOET HENNESSY LOUIS VUITTON SE	349	349	20,287	2,737,859	繊維・アパレル・贅沢品	

銘柄	株数	金額	期首(前期末)	当 期 末		業 種 等	
			株 数	株 数	評 価 額		
					外貨建金額		邦貨換算金額
(ユーロ…フランス) SAFRAN SA	百株 485	—	百株 —	千ユーロ —	千円 —	航空宇宙・防衛	
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	834 2	349 1	20,287 —	2,737,859 <1.9%>		
(ユーロ…オランダ) ASML HOLDING NV	829	—	829	43,582	5,881,481	半導体・半導体製造装置	
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	829 1	829 1	43,582 —	5,881,481 <4.2%>		
ユ ー ロ 計	株数・金額 銘柄数<比率>	5,173 4	4,688 3	77,559 —	10,466,671 <7.4%>		
合 計	株数・金額 銘柄数<比率>	56,616 39	43,503 34	— —	128,859,368 <91.2%>		

\* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

\* 邦貨換算金額欄の〈 〉内は、このファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

\* 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

\* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

# 野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド

## 運用報告書

第5期（決算日2021年11月15日）

作成対象期間（2020年11月17日～2021年11月15日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	新興国を含む世界各国のAI（人工知能）技術関連の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。銘柄選定にあたっては、グローバルな視点でAI先端技術の研究成果に着目し、AI技術の実用化に伴って投資魅力が高まると考えられるAI関連分野の銘柄群を中心に利益成長に着目した銘柄選択を行いません。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資対象	新興国を含む世界各国のAI（人工知能）技術関連の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

## 野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

<http://www.nomura-am.co.jp/>

## ○設定以来の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		株組入比率	株式先物比率	純資産額
		騰	落			
(設定日) 2017年2月23日	円 10,000	% -	% -	% -	% -	百万円 109,154
1期(2017年11月14日)	12,506	25.1	92.0	-	263,313	
2期(2018年11月14日)	13,611	8.8	95.1	-	304,088	
3期(2019年11月14日)	15,044	10.5	96.2	-	231,096	
4期(2020年11月16日)	18,345	21.9	98.2	-	200,809	
5期(2021年11月15日)	26,276	43.2	97.5	-	213,866	

\*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

\*当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行なっており、また、当ファンドの主要投資対象であるAI技術関連企業の株価の値動きを表す適切な指数等がないため、ベンチマーク等はありません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		株組入比率	株式先物比率
		騰	落		
(期首) 2020年11月16日	円 18,345	% -	% 98.2	% -	
11月末	18,604	1.4	98.1	-	
12月末	19,099	4.1	95.3	-	
2021年1月末	19,331	5.4	97.6	-	
2月末	20,100	9.6	96.9	-	
3月末	20,513	11.8	94.6	-	
4月末	21,467	17.0	96.2	-	
5月末	21,353	16.4	98.4	-	
6月末	23,342	27.2	96.7	-	
7月末	23,674	29.0	96.5	-	
8月末	24,391	33.0	95.6	-	
9月末	23,055	25.7	97.5	-	
10月末	25,169	37.2	96.7	-	
(期末) 2021年11月15日	26,276	43.2	97.5	-	

\*騰落率は期首比です。

\*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

## ◎運用経過

### ○期中の基準価額等の推移



### ○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首18,345円から期末26,276円となりました。

- (上昇) 新型コロナウイルスのワクチン実用化による経済活動回復への期待が広がったこと、英国とEU（欧州連合）の通商交渉の合意を好感したこと、米上院決選投票で民主党が勝利し、上下両院で多数派になったことで大型の追加経済対策への期待が高まったこと、市場予想を上回る2020年10-12月期米企業決算や欧米各国の経済指標を好感したこと、為替市場で円が下落（円安）したこと
- (下落) 堅調な米経済指標の発表を背景とした量的金融緩和縮小への警戒感などから金利上昇に弱いとされる成長株が軟調に推移したこと、為替市場で円が上昇（円高）したこと
- (上昇) パウエルFRB（米連邦準備制度理事会）議長が利上げを急がない姿勢を示したこと、バイデン米大統領が超党派の上院議員とインフラ投資法案で合意に達したこと、2021年4-6月期の米企業決算が市場予想を上回ったこと
- (下落) 米国での新型コロナウイルスの感染再拡大や市場予想を下回った8月の米雇用統計を受けて景気の先行き不透明感が意識されたこと、中国の大手不動産会社の債務問題により投資家のリスク回避姿勢が強まったこと、FOMC（米連邦公開市場委員会）を受けて米金融政策の正常化が意識され、米長期金利が上昇基調となったこと
- (上昇) 新型コロナウイルスの経口治療薬の早期実用化への期待が台頭したこと、主要な米国企業の2021年7-9月期決算が市場予想を上回ったこと、為替市場で円が下落したこと

## ○当ファンドのポートフォリオ

### ・株式組入比率

期を通じておおむね高位を維持しました。

### ・期中の主な動き

- (1) 当ファンドでは、世界各国の株式の中から、「IT関連」、「産業関連」、「医療・ヘルスケア関連」等の分野を中心に高度なAI（人工知能）先端技術の研究成果に着目し、AIの活用、実用化によって恩恵を受け、高い成長が期待される企業等に投資を行ないました。結果、AIの活用により中長期で成長が期待されるITセクターなどの投資比率を高めとしました。
- (2) 銘柄につきましては、企業のデジタルトランスフォーメーションが進み、デジタル広告市場がさらに拡大することで、その恩恵を享受して中長期的な成長が期待できると判断したメタ・プラットフォームズ（米国のインタラクティブメディアおよびサービス株）や、デジタルトランスフォーメーションの普及に伴って企業のデータ活用が進む中で、同社が提供するソフトウェアの需要が中長期的に拡大すると判断したエラスティック（オランダのソフトウェア株）などを買付けしました。一方、経済再開を背景とした成長期待が概ね株価に織り込まれたと判断したダイムラー（ドイツの自動車株）や、大型買収や一部経営陣の交代などから今後の業績に対する不透明感が高まったと判断したセールスフォース・ドットコム（米国のソフトウェア株）などを売却しました。

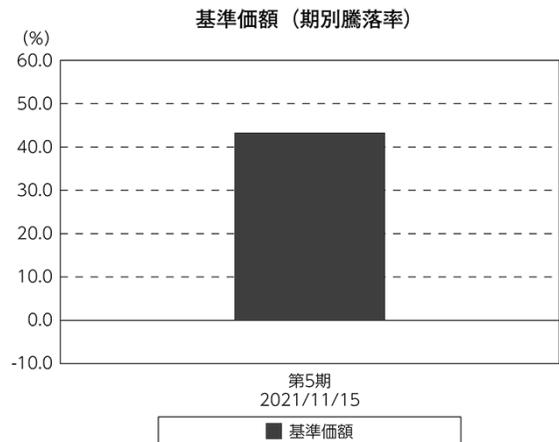
## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行なっておらず、また、当ファンドの主要投資対象であるAI（人工知能）技術関連企業の株価の値動きを表す適切な指数等がないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。

保有銘柄のうち、世界的な半導体需給の逼迫に加え、企業がデジタルトランスフォーメーションを進める中で、データ処理能力の高い当社製品の需要増期待が高まったことなどからエヌビディア（米国の半導体・半導体製造装置株）などが上昇したことが基準価額のプラス要因となりました。

一方、米長期金利の上昇が懸念されたことやユーザー数の今後の成長に対する不透明感が高まったことなどからピンタレスト（米国のインタラクティブメディアおよびサービス株）などが下落したことが基準価額のマイナス要因となりました。



## ◎今後の運用方針

### ・投資環境

米国経済は、新型コロナウイルスによる落ち込みから急回復してきましたが、供給制約や感染再拡大の影響から2021年7-9月期の実質GDP（国内総生産）成長率が前期比年率+2.0%と、4-6月期（同+6.7%）から減速しました。今後は、財政出動効果による高水準の家計貯蓄率や雇用・所得環境の改善、感染再拡大の一服を背景に個人消費が底堅く推移し、経済を支えると思込まれます。FRB（米連邦準備制度理事会）はテーパリング（量的金融緩和の縮小）をこの11月から開始し、物価や雇用情勢を見極めつつ、金融政策の正常化に向かうと見られます。

### ・運用方針

当ファンドでは、世界各国の株式の中から、AI（人工知能）先端技術の研究成果に着目し、AIの活用、実用化によって恩恵を受け、高い成長が期待される企業等に投資を行いません。

外部環境の不透明感が続くなかでも、AI関連などの高成長が期待される分野への注目は引き続き高く、各分野での勝ち組企業がますます強くなるという傾向が目立ちます。加えて、ITセクターだけでなく、幅広い業種や分野でAIを活用した新しい技術やビジネスモデルも普及してきています。引き続き、中長期的な競争優位性を見極めることを重視し、銘柄を選択してまいります。

## ○1万口当たりの費用明細

(2020年11月17日～2021年11月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 )	円 6 (6)	% 0.029 (0.029)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 )	0 (0)	0.001 (0.001)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( そ の 他 )	1 (1) (0)	0.006 (0.006) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	7	0.036	
期中の平均基準価額は、21,674円です。			

\*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2020年11月17日～2021年11月15日)

## 株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上場	千株 —	千円 —	千株 326	千円 1,904,090
外国	アメリカ	百株 28,010 ( 4,555)	千米ドル 549,300 ( —)	百株 51,802	千米ドル 1,030,046
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	3,510	23,816	7,973	58,668
	フランス	—	—	321	19,007
	オランダ	350	18,566	25	1,642
	香港	—	千香港ドル —	80,500	千香港ドル 88,098

\*金額は受け渡し代金。

\*単位未満は切り捨て。

\*（ ）内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ○株式売買比率

(2020年11月17日～2021年11月15日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	191,589,965千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	197,242,394千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.97

\* (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2020年11月17日～2021年11月15日)

## 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
	百万円	%	百万円	百万円	%	
株式	65,637	—	125,952	397	0.3	

## 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	58,707千円
うち利害関係人への支払額 (B)	196千円
(B) / (A)	0.3%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社です。

## ○組入資産の明細

(2021年11月15日現在)

## 国内株式

銘 柄	期首(前期末)		当 期		末
	株 数		株 数		評 価 額
機械 (39.8%)		千株		千株	千円
ダイキン工業	138.7		126.5		3,232,075
サービス業 (60.2%)					
リクルートホールディングス	918.7		604.5		4,878,919
合 計	株 数	・ 金 額	株 数	・ 金 額	・ 金 額
	1,057		731		8,110,994
	銘 柄 数 < 比 率 >		2		< 3.8% >

\*各銘柄の業種分類は、期首、期末の各時点での分類に基づいています。

\*銘柄欄の( )内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

\*評価額欄の&lt; &gt;内は、純資産総額に対する評価額の比率。

\*評価額の単位未満は切り捨て。

## 外国株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
ADOBE INC	2,030	2,066	135,860	15,488,058	ソフトウェア
ALIBABA GROUP HOLDING-SP ADR	1,617	—	—	—	インターネット販売・通信販売
AMAZON.COM INC	304	327	115,272	13,141,054	インターネット販売・通信販売
AMGEN INC	808	514	10,865	1,238,660	バイオテクノロジー
ANSYS INC	696	902	35,342	4,029,006	ソフトウェア
AVALARA INC	1,113	1,132	17,747	2,023,214	ソフトウェア
BEIGENE, LTD ADR	1,180	—	—	—	バイオテクノロジー
BIOMARIN PHARMACEUTICAL INC	1,209	—	—	—	バイオテクノロジー
BIOGEN INC	729	—	—	—	バイオテクノロジー
CME GROUP INC	2,238	762	17,133	1,953,226	資本市場
CATERPILLAR INC DEL	—	718	15,025	1,712,916	機械
CHEGG INC	3,976	—	—	—	各種消費者サービス
COPART INC	2,835	—	—	—	商業サービス・用品
COUPA SOFTWARE INC	492	—	—	—	ソフトウェア
DANAHER CORP	2,497	—	—	—	ヘルスケア機器・用品
DEERE & COMPANY	769	466	16,722	1,906,407	機械
DISNEY (WALT) CO	2,794	—	—	—	娯楽
ETSY INC	1,102	—	—	—	インターネット販売・通信販売
META PLATFORMS INC	—	2,106	71,791	8,184,223	インタラクティブ・メディアおよびサービス
FORTINET INC	1,611	1,076	36,817	4,197,194	ソフトウェア
GLOBAL PAYMENTS INC	2,223	556	7,319	834,386	情報技術サービス
HONEYWELL INTERNATIONAL INC	2,913	798	17,746	2,023,126	コングロマリット
IDEXX LABORATORIES INC	792	488	30,655	3,494,690	ヘルスケア機器・用品
ILLUMINA INC	1,225	—	—	—	ライフサイエンス・ツール/サービス
INTUIT INC	1,649	1,890	118,501	13,509,126	ソフトウェア
INTUITIVE SURGICAL INC	434	825	29,281	3,338,116	ヘルスケア機器・用品
JPMORGAN CHASE & CO	3,408	—	—	—	銀行
LAM RESEARCH	—	549	34,280	3,907,995	半導体・半導体製造装置
LOCKHEED MARTIN	1,036	—	—	—	航空宇宙・防衛
MASTERCARD INC	2,548	1,351	49,108	5,598,408	情報技術サービス
MERCK & CO INC	2,376	—	—	—	医薬品
MICROSOFT CORP	4,380	4,220	142,095	16,198,925	ソフトウェア
NETFLIX INC	354	294	20,068	2,287,835	娯楽
NVIDIA CORP	1,307	4,730	143,744	16,386,895	半導体・半導体製造装置
PINTEREST INC- CLASS A	—	4,445	20,429	2,328,931	インタラクティブ・メディアおよびサービス
PLUG POWER INC	—	2,666	11,501	1,311,128	電気設備
QUANTUMSCAPE CORP	—	1,991	7,727	880,886	自動車部品
SALESFORCE.COM INC	3,098	—	—	—	ソフトウェア
SERVICENOW INC	1,314	1,424	98,455	11,223,911	ソフトウェア
SHOPIFY INC - CLASS A	146	210	35,059	3,996,830	情報技術サービス
SQUARE INC - A	—	1,544	35,095	4,000,843	情報技術サービス
STARBUCKS CORP	3,791	—	—	—	ホテル・レストラン・レジャー
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	1,201	259	16,452	1,875,639	ライフサイエンス・ツール/サービス
UNITEDHEALTH GROUP INC	547	589	27,034	3,081,934	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス
VEEVA SYSTEMS INC-CLASS A	515	1,534	48,730	5,555,285	ヘルスケア・テクノロジ
VERTEX PHARMACEUTICALS	920	670	12,548	1,430,521	バイオテクノロジー
WORKDAY INC-CLASS A	1,308	—	—	—	ソフトウェア
ZOETIS INC	2,319	1,474	31,963	3,643,860	医薬品
ZOOM VIDEO COMMUNICATIONS-A	483	619	15,782	1,799,221	ソフトウェア
ATLASSIAN CORP PLC-CLASS A	1,159	1,473	65,566	7,474,544	ソフトウェア
CYBERARK SOFTWARE LTD/ISRAEL	654	—	—	—	ソフトウェア

銘柄	期首(前期末)	当 期		末		業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額	評 価 額	
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)		百株	百株	千米ドル	千円	
FIVERR INTERNATIONAL LTD		580	1,715	33,005	3,762,589	インターネット販売・通信販売
ELASTIC NV		—	5,060	92,436	10,537,713	ソフトウェア
小 計	株 数 ・ 金 額	70,680	51,443	1,617,169	184,357,312	
	銘柄 数 < 比 率 >	45	35	—	< 86.2% >	
(ユーロ…ドイツ)				千ユーロ		
DAIMLER AG-REGISTERED SHARES		7,973	—	—	—	自動車
HELLOFRESH SE		—	3,510	29,905	3,902,628	インターネット販売・通信販売
小 計	株 数 ・ 金 額	7,973	3,510	29,905	3,902,628	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	< 1.8% >	
(ユーロ…フランス)						
LVHM MOET HENNESSY LOUIS VUITTON SE		655	349	25,229	3,292,506	繊維・アパレル・贅沢品
SAFRAN SA		500	485	5,874	766,598	航空宇宙・防衛
小 計	株 数 ・ 金 額	1,155	834	31,104	4,059,105	
	銘柄 数 < 比 率 >	2	2	—	< 1.9% >	
(ユーロ…オランダ)						
ASML HOLDING NV		505	829	61,316	8,001,756	半導体・半導体製造装置
小 計	株 数 ・ 金 額	505	829	61,316	8,001,756	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	< 3.7% >	
ユ ー ロ 計	株 数 ・ 金 額	9,634	5,173	122,325	15,963,489	
	銘柄 数 < 比 率 >	4	4	—	< 7.5% >	
(香港)				千香港ドル		
ALIBABA HEALTH INFORMATION TECHNOLOGY LT		80,500	—	—	—	ヘルスケア・テクノロジー
小 計	株 数 ・ 金 額	80,500	—	—	—	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	—	—	< —% >	
合 計	株 数 ・ 金 額	160,814	56,616	—	200,320,802	
	銘柄 数 < 比 率 >	50	39	—	< 93.7% >	

\* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

\* 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

\* 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

\* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

## ○投資信託財産の構成

(2021年11月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 208,431,796	% 97.5
コール・ローン等、その他	5,434,521	2.5
投資信託財産総額	213,866,317	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*当期末における外貨建純資産(201,828,052千円)の投資信託財産総額(213,866,317千円)に対する比率は94.4%です。

\*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=114.00円、1ユーロ=130.50円、1香港ドル=14.63円。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年11月15日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	213,866,317,476 円
コール・ローン等	4,451,644,097
株式(評価額)	208,431,796,829
未収入金	944,811,745
未収配当金	38,064,805
(B) 負債	2,297
未払利息	2,297
(C) 純資産総額(A-B)	213,866,315,179
元本	81,393,440,283
次期繰越損益金	132,472,874,896
(D) 受益権総口数	81,393,440,283口
1万口当たり基準価額(C/D)	26,276円

(注) 期首元本額は109,462,598,468円、期中追加設定元本額は91,261,684,906円、期中一部解約元本額は119,330,843,091円、1口当たり純資産額は2.6276円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額  
・野村グローバルAI関連株式ファンド Bコース 41,847,752,850円  
・野村グローバルAI関連株式ファンド Aコース 39,545,687,433円

## ○損益の状況 (2020年11月17日～2021年11月15日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	863,809,393 円
受取配当金	867,873,469
支払利息	△ 4,064,076
(B) 有価証券売買損益	71,443,437,583
売買益	84,359,121,507
売買損	△ 12,915,683,924
(C) 保管費用等	△ 12,004,562
(D) 当期損益金(A+B+C)	72,295,242,414
(E) 前期繰越損益金	91,347,156,813
(F) 追加信託差損益金	105,562,588,605
(G) 解約差損益金	△136,732,112,936
(H) 計(D+E+F+G)	132,472,874,896
次期繰越損益金(H)	132,472,874,896

\*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

\*損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ○お知らせ

該当事項はございません。